

平成23年5月26日

各位

西日本シティ銀行
NCB リサーチ&コンサルティング

消費者動向調査 No.108 「夏のボーナス使いみち調査」 ～ 特別テーマ「主婦の『JR 博多シティ』への関心度調査」～

西日本シティ銀行(頭取 久保田 勇夫)は、消費者動向調査を定期的実施しております。今般、当行連結子会社 NCB リサーチ&コンサルティング調査部と共同で「夏のボーナス使いみち調査」を実施いたしました。また、JR 博多シティ開業に伴い、特別テーマとして「主婦の『JR 博多シティ』への関心度調査」を実施し、調査結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

記

「夏のボーナス使いみち調査」

調査結果要約

調査時期：平成23年4月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦500人
(うち回答者493人、回答率98.6%)

- ◆ 今年の夏のボーナス支給予想、昨年夏と比較して「多くなる」は1.9ポイント増加、「少なくなる」は5.0ポイント減少。
昨年夏よりも、ボーナスが「少なくなる」と予想する割合は5.0ポイント減少し31.3%。
(調査結果本文2P)
- ◆ 夏のボーナスの使いみち予定、1位は「貯蓄」で60.0%。2位は「旅行・レジャー」で42.2%。
夏のボーナス支出予定1位は「貯蓄」の60.0%で、前年夏の55.3%より4.7ポイント増加。
(調査結果本文3P)
- ◆ ボーナスを貯蓄する目的、1位は「将来の生活費補てんのため」で40.0%。2位は「老後資金の備え」で34.3%。
経済の先行きや雇用に対する不安は依然強く、将来への備えが上位を占めている。
(調査結果本文4P)
- ◆ ボーナスを貯蓄する場合の考え、「元本の安全性を重視したい」が51.7%で1位。
東日本大震災の影響から安全性を重視する割合が引き続き高水準。
(調査結果本文5P)
- ◆ 関心がある金融商品、1位は「預貯金」で74.2%。
「預貯金」が、平成22年夏より15.1ポイント大幅に増加して70%台へ。
(調査結果本文6P)
- ◆ 夏のボーナス、自由に使える金額は、昨年に比べ夫は3千円ダウン。妻は4千円ダウン。
ボーナスが「少なくなる」と予想する割合が減少したものの、節約志向から自由に使える金額は減少した。
(調査結果本文7P)

[調査結果本文はこちら](#)

・特別テーマ「主婦の『JR 博多シティ』への関心度調査」

調査時期：平成23年4月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦500人
(うち回答者492人、回答率98.4%)

調査結果要約

- ◆ 『JR 博多シティ』に行ったか：「行った人」の比率は、51.0%
「1回行った」は20.9%、「数回行った」は30.1%で、「行った人」の比率は51.0%。
(調査結果本文 1P)
- ◆ 『JR 博多シティ』で1回いくらのお金を使ったか：1位は「3,001円～5,000円」で23.6%
1位は「3,001円～5,000円」で23.6%、2位は「10,001円以上」で21.7%。
(調査結果本文 2P)
- ◆ 『JR 博多シティ』で一番魅力的なのは：1位は「食料品」で28.5%、2位は「ファッション」で27.4%。
駅ビルならではの複合機能やその利便性に魅力を見出しているようである。
(調査結果本文 2P)
- ◆ 今後、博多地区へ行く回数は増えるか：今までと変わらない(天神の優位性は変わらない)が46.0%。
「天神の優位性は変わらない」は46.0%と、依然として天神の魅力は維持されている。
(調査結果本文 3P)

[調査結果本文はこちら](#)

以 上

この調査に関するお問い合わせ先は
西日本シティ銀行 広報文化部 大岡 TEL 092-461-1869
NCB リサーチ&コンサルティング 調査部 香椎 TEL 092-476-3051

当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。